

光触媒国際シンポジウム記念 光機能材料研究会第 66 回講演会
「光触媒・エネルギー変換の最新技術とデータサイエンスの基礎」

日時：2017年12月1日(金) 13:30~16:20 (受付13:15) 「事前登録制」

会場：東京理科大学 葛飾キャンパス講義棟 308 号室

東京都葛飾区新宿 6-3-1 JR 常磐線 (東京メトロ千代田線)「金町」駅から徒歩 8 分

地図：<http://www.tus.ac.jp/info/campus/katsushika.html>

参加費：光機能材料研究会会員無料 (法人会員は 3 名まで、)

非会員 4,000 円 (当日現金払い) 学生無料 (予稿集別途)

予稿集：会報光触媒 54 号 (受付にて配布)

申込先：光機能材料研究会事務局 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

東京理科大学光触媒国際研究センター内 FAX：04-7122-1742

「本講演会は、12月1日午後5時~3日に開催される光触媒国際シンポジウム(第24回光触媒シンポジウム)公式ホームページ：<https://photocatalysis2.wixsite.com/pirc>の記念講演会として開催されます。」

「プログラム」

13:30 開会にあたって 光機能材料研究会会長 藤嶋 昭 (東京理科大学 学長)

13:35 - 14:20 データサイエンスの基礎

横浜市立大学 データサイエンス推進センター センター長 岩崎 学

データサイエンスへの期待が高まりを見せている。データサイエンスの定義は確定はしていないが、基本的に「統計学+情報科学」であり、データに基づく意思決定に資するものである。本講演では、統計学の観点からデータサイエンスの現状と未来について語る。

14:25 - 15:10 集光型多接合太陽電池と水電解装置の最適接続による

高効率太陽光水素製造 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 杉山正和

集光型多接合太陽電池により、システム全体の発電効率 30%以上が得られる。これに水電解セルを適切なマッチング回路により接続し、太陽光から水素へのエネルギー変換効率 24.4%を得た。今後の効率向上や、稼働率の向上による水素製造コスト低減の見通しを述べる。

15:20 - 15:50 光触媒コーティング液製品の開発

信越化学工業(株) 井上友博

透明性に優れた光触媒コーティング液を開発している。透明性・薄膜強度・機能が最適なバランスで実現するように工夫し、これまで適用が困難だった、高い透明性が必要となるガラスや濃色系建材への適用が可能となった。本製品の最近の展開について紹介する。

15:50 - 16:20 抗菌・抗ウイルス性光触媒ガラス

日本板硝子(株) 皆合哲男

紫外光応答型光触媒として知られている酸化チタンに銅系化合物を担持させることより可視光応答性と高い抗菌・抗ウイルス活性がNEDOプロジェクトにおいて見出された。その特性をガラスへ適用した抗菌・抗ウイルス性光触媒ガラスについて紹介する。

「第 66 回講演会参加申込書」(予稿集作成の関係上申し込み締め切りは 11 月 27 日 (月) とし当日受付はいたしません。なお、会場の定員になり次第締め切ります。)

資格	<input type="checkbox"/> 非会員 (4,000 円)、 <input type="checkbox"/> 会員 (3 名まで無料)、 <input type="checkbox"/> 学生 (予稿集別途) : チェックを入れてください
社名	
所属	
氏名 (ふりがな)	
住所	〒
FAX	「TEL」
e-mail	

FAX : 04-7122-1742

(ご連絡なき欠席は、当会の持ち出しとなり、今後の当会の活動に支障をきたします。)

(受付確認のご返信はいたしませんのでご了承ください。直接会場にお越しいただければ幸いです。)